

# 今、お使いのガスコードやソケットは ここにご注意ください!

2019年から2023年までの5年間で、ガス栓とガス機器をつなぐガスコードやソケットで起きた事故を分析したところ、経年劣化に伴う製品事故(火災等)が増えています。また、製品事故(火災等)の60%※が使用者の不注意が原因でした。

※(一社)日本ガス石油機器工業会調べ



ガスコード



ゴム管用ソケット



チェック  
ポイント

1

## 何年お使いでしょうか?

ガスコードやゴム管用ソケットには寿命があり  
目安は7年です。

製造年月から寿命をチェックしましょう。

古いガス接続具を使用している場合、ゴム部分が劣化(硬化)して割れ、ガス漏れなどの事故が発生する危険性があります。外観上異常がなくてもガス機器を取り替える際、または7年程度を目安に新しいものと取り替えてください。

### 製造年月の確認方法

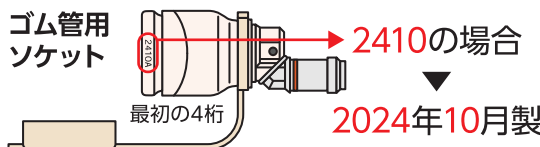


ホース部に記載されている例

認証規格、メーカー名等 **2410**

2410の場合 ▶ 2024年10月製

接続部に記載されている例



2410の場合

2024年10月製

一般社団法人 **日本ガス協会**

一般財団法人 **日本ガス機器検査協会**  
Japan Gas Appliances Inspection Association

一般社団法人 **JLIA** 日本エルピーガス供給機器工業会

一般社団法人 **全国LPガス協会**

一般財団法人 **LIA** **日本エルピーガス機器検査協会**  
Japan L.P.Gas Instrument Inspection Association(LIA)

一般社団法人 **JGKA** **日本ガス石油機器工業会**

チェック  
ポイント  
2

# きちんと接続されていますか？

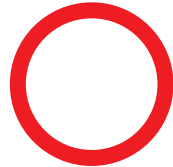
きちんと接続されていないと接続不十分によるガス漏れ事故や火災事故につながります。  
ソケットとガス栓との接続は青線で確認しましょう。

## ソケットとガス栓の誤装着の例

青線が見えるか  
確認してください。



きちんと接続  
されている場合



摺動部が完全に見えている

はずれている場合  
(不完全接続)



摺動部が隠れている

掃除をしたのちに  
特に注意！

※現在販売されている製品は青線で確認できます。

チェック  
ポイント  
3

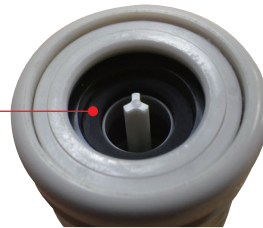
# 内部にゴミが入っていませんか？

ソケットにゴミが入っていると事故の原因となります。  
ソケットを接続するときは、ソケットの接続面に  
ゴミが入りこまないように注意しましょう。

確認すれば  
安心だね。



接続面



使用しないときはキャップをつけましょう。



チェック  
ポイント  
4

# 下記のプラグやゴム管もご確認ください。

器具用スリムプラグ、ガス栓用プラグも同様に外観上異常がなくてもガス機器を取り替える際、  
または7年程度を目安に新しいものと取り替えてください。

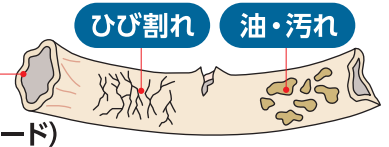


古いガス用ゴム管

端部がゆるみ  
きった状態

ゴム管 (ソフトコード)

※異常がある場合はただちに取り替えてください。



詳しくは(一社)日本ガス石油機器工業会のホームページをご覧ください。

<https://www.jgka.or.jp/>

